

鎌倉漁港の整備位置に関する比較検討一覧表(1/2)

配置案	評価項目ごとの考察内容					景観
	波浪・潮流	漂砂	自然(海域)環境	海域利用	市街地利用との関係	
案 海浜公園 緑地角 ～ 突堤3 付近	波浪：波が砕けて流れに変わる領域に近く、小型漁船(1t程度未満)の操船への影響が懸念される。 潮流：由比ヶ浜から突堤1へ向かう“南西向き”の流れがあるが、流速は弱い。	突堤1周辺より由比ヶ浜側では海底表面や海水中を浮遊する砂の移動(漂砂)に影響され、航路や港内に砂が堆積する可能性が懸念される。 由比ヶ浜の近傍を整備するため、僅かながら海浜変形への影響が懸念される。	突堤1より由比ヶ浜側の海底は“砂”、南側は“岩礁帯”となっている。 “岩礁帯”は広い範囲で藻場(アラメ等)となっている。  本年度、自然環境調査(水質・底質・生態系)を実施する予定。	候補地前面の海域では現在、漁業の操業は行われていない(注1)。 突堤1から由比ヶ浜側の海域では一般の海浜利用が盛んである。  注1)藻場周辺は水深が浅く、スクリューに海藻が絡むなど、小型漁船(1t程度未満)の操船がしにくい。	背後地の状況 集合住宅、一般住宅、鎌倉海浜公園(坂ノ下地区・整備済み箇所) 宿泊施設、特養施設 交通・アクセス 信号機(横断歩道) 交差点(信号機なし) バス停(市営プール前：上り)	影響する景観ポイント ・鎌倉市景観計画 以下の眺望点 【近景】 滑川交差点、鎌倉海浜公園(坂ノ下付近)、稲村ヶ崎海浜公園、成就院、長谷寺、鎌倉文学館、浄明寺展望台 【遠景】 六国見山、十王岩、十二所果樹園
案 突堤1 ～ 突堤4 付近	波浪：波高が比較的小さく、波向きも安定した波となる。 潮流：波や風の影響で方向が、“南向き”か“北向き”に変化するものの、流速が比較的弱く小型漁船(1t程度未満)の操船に影響しない程度である。	突堤1を撤去しなければ、漂砂(上記参照)の影響は比較的少なくなる。 由比ヶ浜の近傍、坂ノ下護岸の南端付近はそのままとするため、海浜変形への影響を最も軽減しやすい。	前面海域の海底は、概ね“岩礁帯”となっている。 “岩礁帯”は広い範囲で藻場(アラメ等)となっている。  同上	候補地前面の海域では現在、漁業の操業はほとんど行われていない(注1)。 突堤2～5の前面海域ではサーフィンの海域利用(波の出方による)があるものの、他の一般海域利用は殆どない。  注1)同上	背後地の状況 集合住宅、特養施設、宿泊施設、飲食店舗 交通・アクセス 交差点(信号機なし) 信号機(横断歩道) バス停(市民プール前：上下)	・鎌倉市景観計画の海浜ベルト(材木座と稲村ヶ崎の間) 連続景観・車窓景観  ・かまくら景観百選 成就院からの眺め、海へ続く路地、由比ヶ浜海岸、材木座海岸、稲村ヶ崎、和賀江嶋、浄明寺展望台・衣張山からの眺め  考察内容(各案共通) ・近景の各景観ポイントからの眺望について、周辺と調和した景観となるよう配慮が必要である。 ・遠景の景観ポイントからの眺望は、肉眼では現行の眺望と差異がなく、影響は軽微と判断される。 ・漁港護岸が景観ポイントの代替や新たな景観ポイントの創出となるよう施設、意匠等へ配慮することが望ましい。
案 突堤2 ～ 突堤5 付近	波浪：波高が比較的高く、波向きも坂ノ下護岸の南端周辺で変化し、不安定な波が発生する可能性がある。 潮流：潮の満ち引きや波浪に影響され、流速がやや速く、沖側と湾内の流れが関連しあい、方向も変化しやすい。	突堤1、2を撤去しないので、漂砂(上記参照)の影響を殆ど受けない。 坂ノ下護岸の南端周辺を整備するため、海浜変形への影響が比較的大きいと懸念される。	前面海域の海底は、概ね“岩礁帯”となっている。 “岩礁帯”は広い範囲で藻場(アラメ等)となっている。 坂ノ下護岸南端の沖側200m付近の水深1.6mには小規模な沈み根が確認(海図に記載)されている。  同上	候補地前面の海域は、漁場として一部利用(みづき漁など)されている(注2)。 坂ノ下護岸の南端付近でヨットなど小型プレジャーボートの航行が想定される。 また、突堤2～5の前面海域ではサーフィンの海域利用(波の出方による)もある。  注2)みづき漁は、箱メガネを用いて船上から行う漁法。	背後地の状況 集合住宅、特養施設 宿泊施設、飲食店舗 鎌倉海浜公園(坂ノ下地区・整備予定地区) 交通・アクセス 信号機(横断歩道) バス停(市営プール前：上下)	・近景の各景観ポイントからの眺望について、周辺と調和した景観となるよう配慮が必要である。 ・遠景の景観ポイントからの眺望は、肉眼では現行の眺望と差異がなく、影響は軽微と判断される。 ・漁港護岸が景観ポイントの代替や新たな景観ポイントの創出となるよう施設、意匠等へ配慮することが望ましい。

## 鎌倉漁港の整備位置に関する比較検討一覧表(2/2)

配置案	評価項目ごとの評価コメント					
	波浪・潮流	漂 砂	自然(海域)環境	海 域 利 用	市街地利用との関係	景 観
<p>案</p> <p>海浜公園 緑地角 ～ 突堤3 付 近</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>波浪、潮流とも影響は比較的軽微である。</li> <li>小型漁船(1t程度未満)の操船への配慮が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>航路、港内に砂が堆積する可能性がある。</li> <li>海浜変形に対して多少の影響が懸念される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>底質は砂底質と岩底質(藻場)が混在している。建設による藻場消失が生じるが3案の中で消失面積は最も少ない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁場への影響はない。</li> <li>一般の海浜及び海域利用への配慮が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>背後地の大部分は“市民の生活空間”である。</li> <li>集合住宅等からの眺望、生活環境等への配慮が必要である。</li> <li>漁港への出入口設定が比較的容易(交差点の利用)である。</li> <li>整備済みの鎌倉海浜公園(坂ノ下地区)との利用連携を図ることが可能である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近景として、由比ヶ浜側からの眺望に影響を与える。</li> </ul>
<p>案</p> <p>突堤1 ～ 突堤4 付 近</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>波浪、潮流とも影響は軽微である。</li> <li>小型漁船(1t程度未満)の操船への影響も軽微である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>航路、港内への砂の堆積は少ないと想定される。(突堤1を撤去しない場合)</li> <li>海浜変形への影響は最も軽減される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>底質はすべて岩底質(藻場)の藻場であり、漁港の建設に伴い一部の藻場が消失する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁場への影響はない。</li> <li>一般の海域利用(主にサーフィン)への影響が想定されるものの、比較的軽微であると推定される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>背後地は“市民の生活空間”と“施設利用空間”に二分されている。</li> <li>集合住宅等からの眺望、生活利用環境等への配慮が必要である。</li> <li>漁港への出入口設定が比較的容易(交差点の利用)である。</li> <li>整備済みの鎌倉海浜公園(坂ノ下地区)と南側の整備予定区域を結ぶウォーターフロント・グリーンベルト的な利用連携を図ることが可能である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近景として、由比ヶ浜側からの眺望に影響を与える可能性がある。</li> </ul>
<p>案</p> <p>突堤2 ～ 突堤5 付 近</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>波浪、潮流とも多少の影響が懸念される。</li> <li>小型漁船(1t程度未満)の操船への配慮が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>航路、港内への砂の堆積は殆どないと想定される。</li> <li>海浜変形への影響が比較的大きいと想定される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>底質はすべて岩底質(藻場)の藻場であり、漁港の建設に伴い一部の藻場が消失する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>漁場への多少の影響が懸念される。</li> <li>一般の海域利用(ヨットなどの小型艇、サーフィン等)への影響が想定される。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>背後地の大部分は“施設利用空間”と鎌倉海浜公園(坂ノ下地区/整備予定区域)である。</li> <li>宿泊施設等からの眺望、利用環境等への配慮が必要である。</li> <li>漁港への出入口設定が比較的困難(現在の横断歩道の信号部分に限定される)である。</li> <li>整備予定の鎌倉海浜公園(坂ノ下地区)との利用連携を図ることが可能である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>近景として、由比ヶ浜側および稲村ヶ崎側からの眺望に影響を与える可能性がある。</li> </ul>